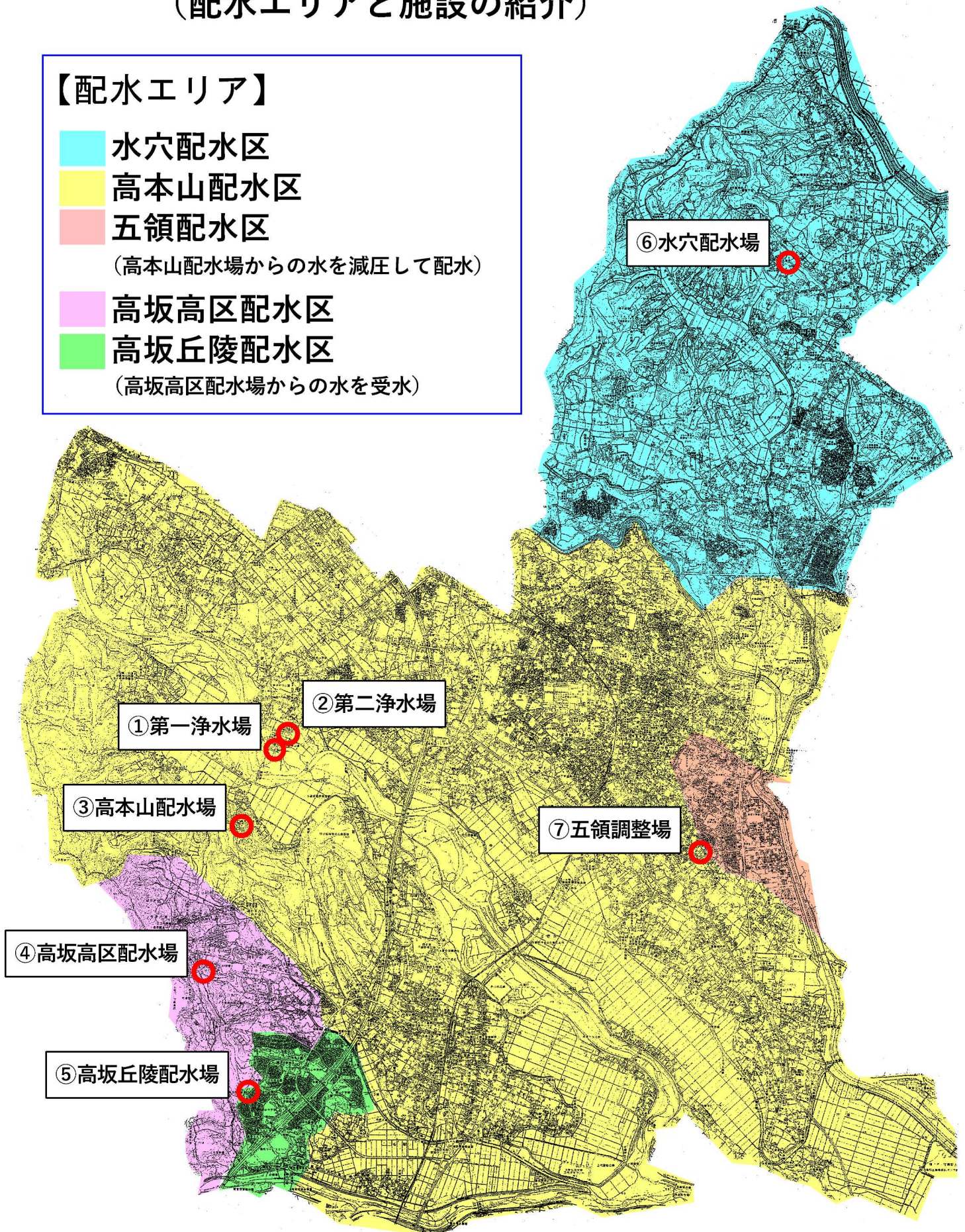


うちの水はどの配水場から来ているの？ (配水エリアと施設の紹介)

【配水エリア】

-  水穴配水区
-  高本山配水区
-  五領配水区
(高本山配水場からの水を減圧して配水)
-  高坂高区配水区
-  高坂丘陵配水区
(高坂高区配水場からの水を受水)



①第一浄水場



東松山市で最初に作られた浄水場です。

当初は市内の中心部へ市水を直接配水していましたが、高本山配水場の完成後は県水とブレンドした水を唐子地区へ供給しています。

配水区：高本山配水区

地域：上唐子・下唐子・新郷・石橋・下青鳥・葛袋
・坂東山・神戸

水源：市水（浅井戸から地下水を取水）

施設能力：8,530m³/日

②第二浄水場



給水人口の増加に伴い昭和45年に建設され、水道事業の拠点として、令和3年7月までは旧水道庁舎として料金の支払いなどのお客様の窓口としても利用されていましたが、上下水道庁舎の完成に伴い、事務所機能は移転し、現在は単独の浄水施設として運用されています。

配水区：高本山配水区

地域：下唐子・新郷・下青鳥・石橋

水源：市水（浅井戸から地下水を取水）

施設能力：7,700m³/日

③高本山配水場



東松山市で最初に作られた配水場であり、当初は小型の配水池2池により、第一浄水場で作られた水（市水）を市内中心部へ送っていました。昭和後期の急激な給水人口増加に対応するため、昭和62年に配水池を増築し、埼玉県から送られる水（県水）の受水を開始しました。

高本山配水場は、市内の東西に渡る広い範囲に配水を行う施設として、市全体配水量の約6割を担っています。

配 水 区：高本山配水区（五領配水区を含む）

地 域：本町・神明町・箭弓町・材木町・松葉町・
日吉町・松山町・美土里町・和泉町・幸町
・上唐子・下唐子・石橋・新郷・上野本・
下野本・下青鳥・上押垂・下押垂・今泉・
古凍

水 源：県水（吉見浄水場：荒川より取水）
市水（第一浄水場から送水）

配 水 池：8,600m³ × 1池（県水）
1,800m³ × 2池（県水・市水）

④高坂高区配水場



昭和50年代における高坂丘陵地区の開発や、こども動物自然公園の設置による配水量の増加に対応するため築造されました。

市内南部（高坂地区）の拠点として市内全体配水量の約1割を担っている施設です。

配水区：高坂高区配水区

地域：岩殿・西本宿・元宿・毛塚・白山台・松風台

水源：県水（吉見浄水場：荒川より取水）

配水池：2,700m³

⑤高坂丘陵配水場



高坂丘陵地区は凹凸の多い地形であることから、高坂高区配水場からでは直接配水が難しい地域へ水を供給するための補助的な配水場として築造されました。

災害時には応急給水拠点としての役割も担っています。

配水区：高坂丘陵配水区

地域：桜山台・白山台・旗立台・松風台・田木

水源：県水（吉見浄水場：荒川より取水）

高坂高区配水場からの水を受水

配水池：900m³

⑥水穴配水場



市内で唯一、平成に作られた施設です。ほかの配水場と比べ、標高の低い位置に建てられており、落差を利用した配水ができないことからポンプによる配水をおこなっています。

市の北部地域を対象に配水をしており、市全体配水量の約3割を担っています。

配水区：水穴配水区

地域：大谷・岡・東平・野田・松山・沢口町・殿山町・
松山町・小松原町・砂田町・仲田町・市ノ川・
加美町・美原町

水源：県水（行田浄水場：利根川より取水）

配水池：6,900m³ × 2池

⑦五領調整場



高本山配水場との高低差により配水圧力が高くなりすぎるため、配水管網の途中に設置された圧力を下げる施設です。災害時には応急給水拠点としての役割も担っています。

配水区：五領配水区

地域：御茶山町、六反町、六軒町、
五領町、新宿町、山崎町、柏崎
松本町、若松町

水源：県水（高本山配水場からの水を減圧して配水）